

藤岡小中学校事務用ネットワーク

～ 様式の統一と情報の共有・活用のための手立てとして ～

藤岡町学校事務研究会

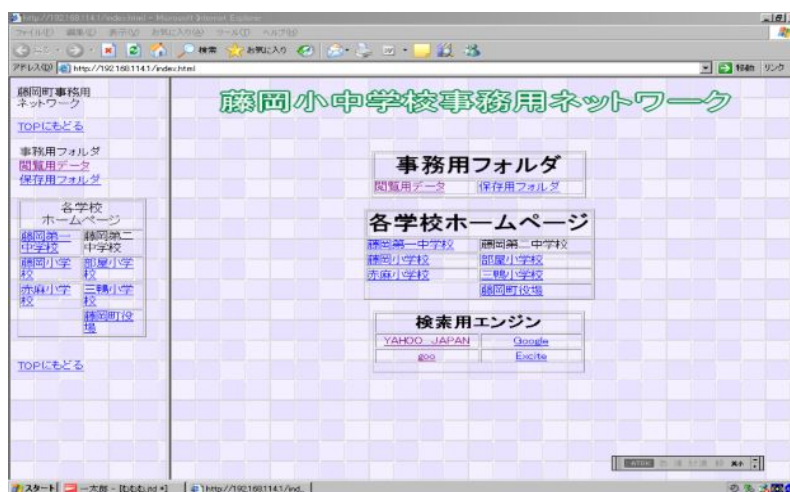
1 はじめに

平成15年度以来、藤岡町小中学校事務研究会（以下 藤事研）では会員のレベルアップと児童生徒・教職員・保護者や地域へのサービス向上を目指し、予算・施設設備等について研修する中で藤岡町教育委員会（以下 町教委）との連携を図りながら、その内容や方法の見直しを行い、また、様式や事務処理等の改善を図りながら、その時々に応じ幅広い研修を実施しています。

近年では町教委や校長会等の協力を得ながら、町内全小中学校への防犯用刺又の設置や町教委を巻き込んで行った補助金・交付金予算の枠組みの見直し、学校日誌等の様式改正と数々の成果を上げています。

現在は町教委や校長会等とも連携をとり予算要望をとoshi学校現場の要望を町の教育振興計画に取り入れることや、各学校の文書分類を統一していく中で様式の改正や統一を図りながら、藤岡町立小中学校文書取扱規程の改正を視野に入れた研修を行っています。

平成16年度からは共同実施に関する研修も取り入れ、藤事研としてはどのような形で共同実施の導入が可能かを検討しているところですが、事務の効率化という部分では既に共同実施がスタートしたと言えます。共同実施としてはまだまだ十分なものとは言えませんが、学校事務業務の分担による事務の効率化（事務便り・様式や共通フォームの作成）や今回発表させていただくことになった藤岡町学校事務用ネットワークのポータルサイト（以下 事務用ネットワーク）がそれにあたるものと考えています。



事務用ネットワーク

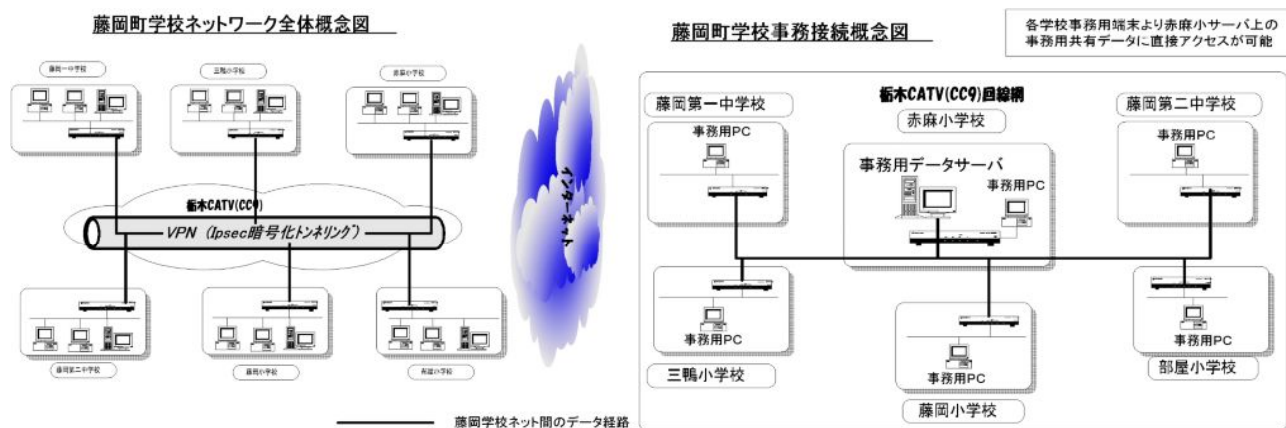
2 町内小中学校LAN（Local Area Network）の現状

藤岡町では、平成15年度に学校の教室・パソコン（以下 PC）教室のPCが新しい物となり、サーバも設置され町内小中学校のLANシステムが作られました。

CATV回線を利用し町内の学校間だけで結ばれるVPN（Virtual Private Network）と言われるインターネットに情報が流れないシステムで、更にデータが暗号化されるため各種データのやり取りも電子メール等よりも数段安全にやり取りできるようになりました。しかし、職員室や事務

室内の教職員用のPCが旧型であったことや、ネットワークに対する意識や関心が低く実際にネットワークを活用することはありませんでした。平成17年度には職員室・事務室のPCが新しくなりネットワーク活用の条件が整いました。現在、各学校のPCはいずれもサーバにはマイクロソフト社のWindows 2000 Server、クライアントにはWindows XP Professionalという構成になっており、PC教室に設置のサーバは非公開、職員室に設置のサーバは町内小中学校LANの使用が可能となっています。

町内小中学校LANイメージ



3 研究の経緯と内容

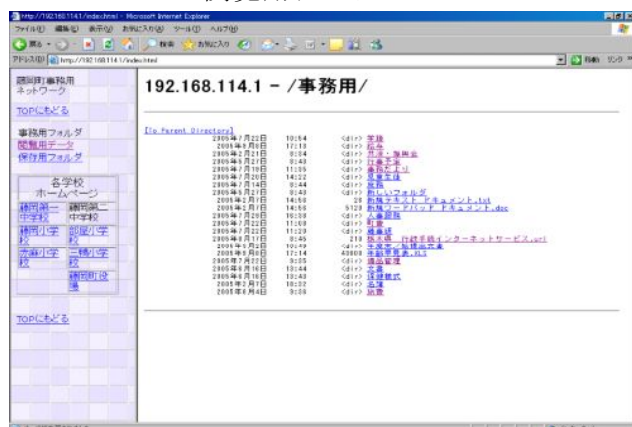
「はじめに」で述べたように藤事研では、様式や書式の統一についても研修を持っていましたが、統一された書式を利用しやすく保管する場所をどうするか考える必要がありました。その中には、様式集を配布することやCDで様式のデータを配布する等いくつかの案が考えられました。しかし、様式の改正や統一を図る上で、紙ベースであるとコピー等によるデータの劣化や様式を使用する人がそれぞれのPCソフト等で様式を真似て作成し直すなどのデメリットがあり、データで提供できる方法を考える必要がありました。また、常に最新のデータを提供できるようにするためにはCDの配布という方法にも問題が残りました。町教委や藤事研がホームページを持ち、様式等をダウンロードできる場所があれば事務用ネットワークを立ち上げることは無かったと思います。このような状況で藤事研では徐々に町内小中学校LANの活用を考えるようになりました。

研究の当初は、ダウンロードのページのようなもので町の学校で使用している様式等の保管場所が欲しいという程度のものでしたから、フォルダの共有化により各校から拠点としている赤麻小学校内のサーバにアクセスし直接ファイルを操作するという方法を選びました。しかし、見た目や作業性を考えフォルダをウェブ形式で表示させた方がより実用的で使い易いものになるのではないかと考え現在の形式で作成しました。

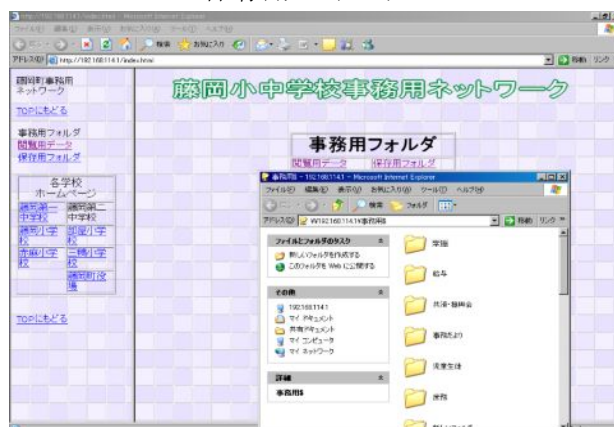
事務用ネットワークは、サーバ管理を委託している業者に協力をいただき市販のホームページ作成ソフトで作成してありますので、実際に事務用ネットワークにアクセスするには、町内の小中学校のPCから教職員用のパスワードでログインし、インターネット閲覧用のソフトからアドレスを入力して行うこととなります。それにより事務用ネットワークはホームページを閲覧するような感覚で使用することができます。また、ウェブ形式で表示させることにより閲覧用データから個々のファイルにアクセスした際、ダウンロードはできてもデータを書き換えることができ

ないようにすることができ、データを誤って破損・削除されることがないなど、データの安全性を高めることができました。保存用フォルダからは個々のファイルにアクセスすると普段自分のPCを操作しているのと同様に、データの修正やファイルの追加・削除が行えるようになっていきます。更に保存用フォルダからデータの追加・削除をするとその結果が自動的に閲覧用データの見出しに反映されるようになっていきます。

閲覧用データ



保存用フォルダ



4 研究の成果

今までは学校間でのデータのやり取りには電子メールを使用することが大半を占めていたわけですが、インターネットを経由するためセキュリティーに問題がありました。添付できるデータの大きさにも制限があり、データの圧縮などPC初心者には難しい点もありました。事務用ネットワークではこれらのことが直接サーバにアクセスすることで解決され、自分のPCのハードディスクにアクセスする感覚で使用することができ、使い勝手の良い物ができたと考えています。

データの共有が容易になったため、それぞれの事務職員が作成したデータを互いに利用しあうことで事務の効率化が図られ、データも一番良い形で保存・活用ができるようになりました。

保存されている各種データは、使用ソフトの1シートを利用し注意事項、追加・更新履歴を記入することで、いつ・誰が作成したデータ、あるいはどこからダウンロードしたデータで、いつ・誰が、何のために追加・更新したものか分かるようにしてあり、自分で作成したものでなくても安心して使用できるようになっています。現在は、掲示板のようなものを利用してデータの追加や更新がより分かり易く表示できるよう検討をしているところです。

当初、事務用ネットワークはデータを保存しておく場所というだけのイメージでした。しかし、ウェブ形式での表示やデータの共有が進むにつれ、私たちの意識や使用方法も少しずつ変わってきました。はじめは保存された様式やデータをただ利用するという意識だけだったものが、事務用ネットワークを利用するうちに、一つのデータをみんなで造り上げるという意識が出てきたということです。この意識が事務用ネットワークの新しい活用方法の模索として、発展的に働いてくれることを期待しています。

現在は、事務職員だけでなく各校の教務主任の先生方が、学校の行事予定を保管する場所として使用できるよう調整を図っており、町教委委嘱により各学校の情報教育担当で組織された町コンピュータ委員会の中では、同会に参加している先に挙げたサーバ管理を委託している業者の協力のもと、学年主任の先生方の利用についても提案をしています。

各学校の行事予定なども書式が統一され同じ場所に保管されていれば、町内小中学校の行事一覧を作成して保護者や地域の方々に情報を提供していくことが容易になります。また、備品台帳が電算化され事務用ネットワークで集中的に管理されれば、他校の所有している学校備品まで検索することが可能になり、学校間の備品の貸与がスムーズにできるようになります。このように他地区の事務研究会等で共同実施研究の成果として発表されたようなことが実現しやすい環境を手に入れることができたことで、この事務用ネットワークが今後、藤事研の共同実施の研究や実践に大きく役立つものになると考えています。

5 今後の課題

事務用ネットワークは、まだ動き始めたばかりですのでこれからやらなければならないことはたくさんあります。様式集については関係機関の監修を受けることも必要ですし、セキュリティが一般のホームページや電子メールと比べ格段に高いとはいえ、取り扱うデータの種類や内容には十分注意しなければなりません。今後は、利用にあたっての決まり事も作らなければならないと考えています。

またこれらのことを解決し、将来的にはデータを系統的に整理し藤岡町の教職員すべてが有効に活用できるシステムにしていけるよう、藤事研だけではなく町教委や校長会、町コンピュータ委員会等との更なる連携を図っていきたいと考えています。

そして教員も含めて使用することを考えた場合、事務用ネットワークにどのようなデータを蓄積していくか、分類はどうするかなど、藤事研として利用していたときにはあまり問題にならなかったことが課題として見えてきました。今後は、学校事務に関する様式やデータの統一だけでなく、教員も巻き込んで指導に関する様式やデータについても各校共通で使用できるものなどを加えながら、パスワードによるデータ閲覧の制限やお知らせ・掲示板、電子メールの機能のようなものも加えていければと考えています。

そして最終的には、より有効な活用の仕方を考えながら児童生徒や保護者、地域に役立つ情報をどの様に発信していくかを模索していきたいと考えています。

6 おわりに

藤事研では、特にPCやネットワークに精通した人材がいるわけではありません。現在利用できる状況でどのようなことができるのかを考えた結果が、この事務用ネットワークにつながりました。栃事研会員の中にはより優れた知識や技術を持った方が多くいらっしゃると思います。

藤事研の研究がより良い方向に向かっているようお力添えをお願いしたく、拙い研究ですがここに発表させていただきました。ご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。